

～ 窓ガラスの台風、強風対策！ ～

今年の夏は記録続きの猛暑が続いています。また、太平洋沖の海水温が異常なほど高く、そろそろ台風が多くなる季節柄。

今回は、ご自宅の窓ガラス対策に役立つような情報を書きました。

<ガラスが割れ、飛散する被害が多いです>

家の弱点は窓です。窓は家の中に太陽の光や風、四季折々の風景を取りこむ大切な住宅部品ですが、**ガラスでできているために他の建築部材に比べて断熱性能が低く、**また割れてしまえばその**破片が凶器となって命を奪う危険性**もあります。

台風や竜巻による強風はもちろん、**春の突風でも、植木鉢や屋根瓦が飛んできて窓ガラスが割れてケガ**をするケースは少なくありません。中には、どこかのお店の看板がまるごと飛んできて窓ガラスが割れて、大きな被害を受けることも。

また**ガラスの破片が散らばると、避難をするのにも危険**が伴い、その後の片付けも大変です。



<風速と被害との関連性>

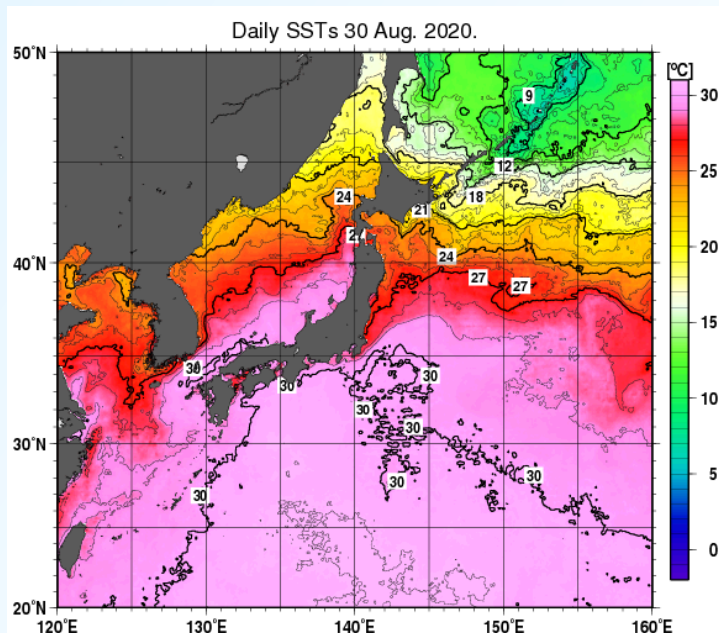
気象庁によると**風速20m/秒を超えると物が飛び始め、看板の落下飛散などが起きると**されています。

一戸建ての場合、**屋根の板金が飛ぶこと**もあります。

屋根の板金は大きく平たいので風に乗りやすく、**また硬く鋭利でとても危険**です。実際に、近所のお家の屋根の板金が飛ばされて窓にぶつかるケースがあります。

また、大きな竜巻などで窓ガラスが割れ、強風が吹きこみ、その勢いで屋根が持ち上げられてまるごと飛ばされている映像をニュースなどでご覧になったことあると思います。

大きな台風や竜巻で**風速50m/秒を超えた場合には、家屋の倒壊や風圧での窓ガラスの割れ**が起きる可能性が高くなりますので、注意が必要です。



8月末時点の海水温。太平洋沖のほとんどが30℃と「ぬるま湯」並みの温度。

<お手軽な対策は養生テープ！>

窓ガラスが割れることを防ぐのは難しくても、**ガラスの破片が飛散しなければ被害は少なく済み、一気に安全性が高まります。**

簡単にできる対策方法をご紹介します。
窓にカーテンが付いている場合は、**カーテンをしっかりと閉めて養生テープで窓を覆うように留めます。**
ガムテープだと、剥がす際にべたべたが残りやすく、壁紙や塗装が剥がれてしまうことがあります。養生テープだと粘着力が弱く、きれいに剥がせますので扱いやすくなっています。



緊急な場合は、**この対策だけでも室内の安全性は高まります。**

<きちんと考えるなら、リフォームです！>

ひと昔前は、台風になると雨戸をしっかりと閉め、木製窓には板を打ち付け、窓が飛ばされたりガラスが割れたりしないよう対策をしていたものです。

現在は**アルミサッシが主流**となり、窓まわりがシツカリしていますので、板を打ち付けることはありませんが、その分、**雨戸が無い家が増えています。**
強風による飛来物から我が家を守るためには、やはり雨戸やシャッターを取り付けて窓ガラスを守ることが、家の安全性を高めるポイントになります。

雨戸は、今あるほとんどの窓サッシに後付けリフォームが可能です。ただし窓の脇に雨戸を引きこむための戸袋を取り付ける壁が必要ですので、**袖に壁が無い場合は、シャッターの取り付けを検討する**といいでしょう。



雨戸やシャッターが取付けできない小窓には、面格子を取付けるリフォームも効果的です。
面格子があれば、台風や竜巻、突風による大きな飛来物があっても、窓ガラスが割れるのを防ぐことができます。
また**空き巣などの防犯対策にも効果**があります。



マンションやアパートの場合は、**飛散防止フィルムやシートでガラスの飛散を防ぐリフォームが安全対策に有効**です。
万が一ガラスが割れても飛散することがなく、家の中に飛来物が飛び込んでくるのを防いでくれます。

窓ガラスの飛散防止対策をしておくことは、地震が起きた時の避難の際にも役立ちます。**家の中では裸足でいることが多いので、災害時にガラスの破片が散らばらないよう、しっかり対策しておきましょう。**

土地や建物の よろず相談やっています！

リフォームのご相談もお気軽に!!

私たちは、土地や建物の仲介のみではなく、声かけ頂ければ、何でもお役に立ちます！

～土地・建物のよろず屋～

マルヒロ不動産(株)

名古屋市中村区横前町109番地

TEL: 052-413-4628



<http://maruhiro2103.co.jp>